

市政報告 議会報告

春夏秋冬

春夏秋冬 第35号・第36号

発行/高橋たくみ事務所
仙台市青葉区通町2-9-15

TEL.022-725-3019

FAX.022-725-3029

E-mail:
sendai@takumi-takahashi.net

トピックス

- 子どもの遊び場整備決定!!
- 姉妹校締結に向けた交流学習
- 大河ドラマの誘致の進捗
- レンタル電動キックボードLUUPの交通ルールへの遵守と安全対策を
- 自転車のヘルメット着用率の向上策の1つとして、駐輪場にヘルメット用ロッカーの設置を!

子どもの遊び場整備決定!!

2月7日に開会した令和7年第1回定例会の議案の1つに、かねてより要望が続けてまいりました『**屋内の子どもの遊び場**』の整備計画が上程されました。屋内の子どもの遊び場は、子育て世代の方々から数多く要望をいただいていた、同じ子育て世代の私と致しましても、心から歓迎するものです。

整備計画は**西公園南側の旧市民プール跡地**に予定されることとなりました。地下鉄線路より南側のエリアになる予定です。①

線路を挟み、北側は屋外の大型遊具が設置される事が決定しておりますが、他にも地域の方にご要望いただきました**バスケットボールのハーフコートの整備**は議会質問を経て、仙台89ersの志村社長のご協力をいただき、**実現**できる事が決まっております。②

また、アーバンスポーツの**スケートボード場**も整備予定ですが、こちらは現在スケートボード協会の関係者を市の担当課と繋げ、専門的なアドバイスをいただきながら、真にスケボー利用者が楽しめる整備ができるように尽力したいと考えております。③

遊び場も含め、地元や市民の皆様から愛される公園づくりの実現を目指し、今後も全力を尽くしてまいります。

西公園プール跡地
全体計画図

姉妹校締結に向けた交流学習

仙台市と宇和島市は、仙台藩祖伊達政宗公の長子・秀宗公が1614年（慶長19年）に宇和島藩祖となって以来、両市とも城下町として繁栄してきた歴史的関係を基盤として、1975年（昭和50年）に**歴史姉妹都市**として提携しました。今年は**50周年**の節目となり、皆様と共に祝い申し上げます。

50周年を迎えた令和7年1月30日には、宇和島市長と宇和島伊達家第13代当主である伊達宗信氏らが仙台市長を訪問しました。また、同日より宇和島市と「姉妹都市パートナーシップ」を結んでいるお茶の井ヶ田（株）様が運営する秋保ヴィレッジにて『えひめ宇和島歴史姉妹都市フェア2025』が2月下旬まで開催されるなど、節目の年を盛り上げる機運が高まっております。

しかしながら、宇和島市が姉妹都市であることを未だに知らない方も多く、特に次代を担う若い世代への発信が課題であると思います。かく言う私も、恥ずかしながら宇和島市が姉妹都市であると認識したのは議員初当選後のことでした。

そのような私ですが、平成30年に先輩議員の随同行で初めて宇和島市を訪れて以来、今日まで諸先輩方が大切に関係を深めてこられた議員間

交流を引き継ぎ、その責任を果たすために両市のさらなる関係構築が必要であると考え、まずは宇和島市が姉妹都市であるという市民の認識をより広げるために「**姉妹校**」を締結させることを議会で提言致しました。

私の母校である片平丁小学校は北海道の白老小学校と姉妹校であり、今年で47年になります。コロナ禍を除き、毎年相互に生徒が行き来する交流を継続して行ってきました。私は当時学校の代表として白老を訪れましたが、今でも楽しかった記憶が鮮明に残っています。また、白老町が仙台市の姉妹都市であることは小学生の頃に深く刻まれました。姉妹校交流は生徒だけでなく、その周辺地域住民にも姉妹都市の存在を認識させ、より親近感を得ることができそうです。

そのような体験を現代の子ども達にも味わってほしい。視野を広げてほしい。歴史姉妹都市宇和島を知ってほしいという想いから、宇和島市議のお歴々と連携し、昨年11月



(裏面につづく)

に仙台南二番丁小学校と宇和島市立鶴巻小学校、岩松小
学校の4年生同士による第1回目の交流授業が実現しました。
当日は、東二番丁小学校の生徒から宇和島市の子供達に向
けて、仙台のまちの紹介を行いました。予想以上に宇和島の
子供達から質問が飛び交うなど活発な内容となりました。ま
た、給食のレシピも合わせて皆同じメニューを食べたとの事で
した。

現在、姉妹校締結に向けて働きかけており、**50周年事業**の
一環となるよう皆様からも応援をいただけたら幸いです。

また、同時期に観光姉妹都市である徳島市とも姉妹校締結
を進めており、昨年10月に仙台南八幡小学校と、徳島市立佐古小学校の交流授業も実現することが出来ました。徳島市と言えば阿波踊り。と
いうことから、仙台ですずめ踊りが盛んな仙台南八幡小学校が選ばれたという事です。

姉妹校交流によって、子供達がまちの歴史や伝統文化、特色、気候、自慢したいもの、美味しい名物など、お互いのまちの魅力を学び合う楽
しさであったり、姉妹都市に行ってみよう！ やってみたい！！ などの探究心が芽生える機会になる事。そして、何よりも自分達が住むまちを相手
に詳しく紹介する為に、改めて仙台の良いところ、好きなところを学び、新たな発見と共に**地域愛、郷土愛**が育まれる、そんな機会になれば幸甚
の極みでございます。



令和6年 第4回定例会 一般質問 12月17日(火)

Q 大河ドラマの誘致の進捗

A 新たな観光戦略では、伊達宗公没後四百年となる2036年を視野に、中
長期的な視点の下、大手門の復元をはじめ、青葉山エリアの価値を飛躍的
に高めていくことを重点プロジェクトとして掲げたところで、大河ドラマ
の誘致はその象徴的な取組の一つになり得るものと考えている。現在、地
元経済界や関係者等とも意見交換を始めたところで、年度内に機運醸成の
ためのイベント等を開催するとともに、次年度以降の誘致組織の立ち上げ
を目指している。また、県内はもとより、歴史姉妹都市である宇和島市
や白老町をはじめ、全国各地に伊達家ゆかりの都市も多いことから、こ
うした関係自治体へも働きかけ、実現に向け、取組を精力的に進めてまい
りたい。



大河ドラマの誘致は、2036年の**大手
門復元**に合わせて国内外からの観光
客誘致策の1つとして、昨年の予算委
員会で提言させていただきました。当局

も重要性を認識いただき、**藤本副市長を中心に機運の醸成**
を行います。

私も姉妹都市をはじめ、他都市からの協力を働きかけるなど、
誘致実現に向け取り組んでまいります。皆様からご協力を賜
りますようお願い致します。

令和6年 第3回定例会 決算等審査特別委員会 9月19日(木)

Q レンタル電動キックボードLUUPの交通ルールの遵守と 安全対策を

A 電動キックボードのレンタル事業者に限らず、
シェアサイクルなども、ふだんから利用して
いない人が利用することもあり、交通ルール
について、必ずしも精通していない人が利用
することもあると考える。

交通事故を防ぐには、正しい交通ルールを
習得し、それを遵守していただくことが重要
であると認識している。シェアサイクル事業
者に対しては、利用者に対する交通ルールの
周知を強く要請しているところであり、市と
しても、宮城県警察と連携し、SNSなどの
活用も含め、啓発の手法を工夫している。



レンタル電動キック
ボードは私も普段使いを
しています。車両置き場
であるポートから別のポ
ートへ乗り捨てられる便利なシステムで
ありますが、自転車のルールとは異なる
為、その**ルールの遵守**をしていただく事
が、**交通事故防止**の基本となります。車
を運転する側からも不安の声をいただく
ことから、今後も**安全対策の強化を推進**致
します。

令和6年 第3回定例会 決算等審査特別委員会 9月19日(木)

Q 自転車のヘルメット着用率の向上策の1つとして、 駐輪場にヘルメット用ロッカーの設置を！

A 他都市の状況を確認する
など、駐輪場を所管する
建設局と連携を図りなが
ら、可能性について検討
してまいります。



平成31年1月に施行された「仙台市自転車の安全利用に関する条例」により、自転車使
用時のヘルメット着用は努力義務化されました。
しかし、市職員においても自転車通勤のヘルメット着用率は令和6年度9月時点で**28.1%**
と**低水準**となっているなど、安全対策のためにも**着用率を高める**更なる取組みが必要と考え
ます。もしもの際の**生存率を上げる**ため、今後もこの問題に取り組んでまいります。